

瀬田川プランクトン調査結果速報

～第37報～

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成15年12月15日

1. 最も数が多かった種類（優占種）

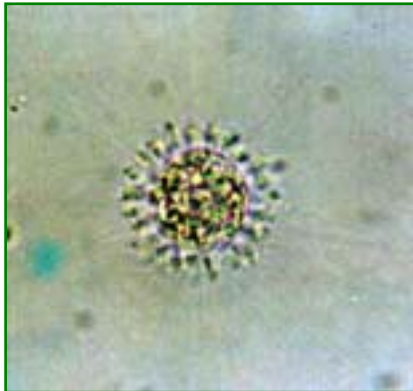
植物プランクトン第1優占種



Uroglena americana
(ウログレナ)
黄色鞭毛藻類

楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種



Acanthocystis chaetophora
(アcantキスチス)
太陽虫類

体は球形で多くの偽足を放射状に出している。小型の太陽虫で軸足が非常に長いのが特徴である。

コメント

植物プランクトンは、先週に引き続き淡水赤潮の原因となるウログレナが優占種となった。本種は、5週間連続して優占種となっている。動物プランクトンは、太陽虫に属するアcantキスチスが、先週に引き続き優占種となった。また太陽虫では、ラフィドシスチス属 (*Raphidocystis* sp.) が260個体/l、ラフィディオプリス属 (*Raphidiophrys viridis*) が160個体/lなども見られた。

2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

(1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体/l)
肉質虫類	<i>Acanthocystis chaetophora</i>	400

第 2 優 占 種		個体数 (個体/l)
輪虫類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	320

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当

(2) 植物プランクトン

平成15年12月15日

第37報

(網) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	2900		
(黄鞭) <i>Ochromonas</i> sp.	10		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	30		
(黄鞭) <i>Mallomonas tonsurata</i>	10		
(黄鞭) <i>Mallomonas fastigata</i>	30		
(黄鞭) <i>Synura petersenii</i>	30		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	82		
(珪) <i>Melosira distans</i>	20		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	60		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	10		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	80		
(珪) <i>Synedra acus</i>	10		
(珪) <i>Cocconeis placentula</i> var. <i>leneata</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	160		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	380		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	20		
(緑) <i>Scenedesmus</i> sp.	4		
(緑) <i>Mougeotia</i> sp.	12		
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	1		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	6		
(緑) その他の緑藻	10		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	3010	77.7	50.3
(珪) 珪藻綱	272	7.0	7.6
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	540	13.9	16.2
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	53	1.4	25.9
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	3875	総体積	2.08E+06
種 類 数	21	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。